



平成会 桜田基介 議員

地籍調査について

問 地籍調査の取り組み状況について伺います。

答 市長 地籍調査は大変重要な事業と考えています。現在、県国土調査推進協議会の会長としており、県内の地籍調査の推進に取り組んでいます。

答 都市建設部長 平成7年度に旧山武町全域を対象として着手し、本年度で24年目となります。現在は本原地区を対象に調査を進めており、実施面積は昨年3月末現在で、約12・7km²、進捗率は8・7%です。

問 地籍調査は大変重要な事業です。メリットについて伺います。

答 都市建設部長 土地取引の円滑化、災害復旧の迅速化、公共事業の円滑化、まちづくり、土地に係るトラブルの未然防止が挙げられます。

問 海岸地域は津波で多大な被害

を受け、住民も減少し、地域が疲弊している状況です。海岸地域の活性化と災害復旧の円滑化、地域のまちづくりの手法の1つとして、取り組む考えはあるか伺います。

答 都市建設部長 災害が発生した場合の復旧を円滑に進めるため、地籍調査の重要性を認識しています。状況を見極め、海岸地域を地籍調査事業の対象区域として、まずは検証していきたいと考えています。

問 海岸地区を調査対象とした場合に必要となる人員と経費について伺います。

答 都市建設部長 現在、地籍調査係は3人で、事業費は約4000万円です。海岸地区を対象とした場合、人員は5、6人、事業費は約8000万円必要と考えています。

緑海橋について

問 平成30年9月の定例会で、緑海橋の歩道整備について質問した際、今年度から工事に着手するとのことでしたが、進捗状況を伺います。

答 都市建設部長 3カ年事業で計画工事発注の予定でしたが、平成31年度の1年間で歩道工事が完成する計画に変更したと聞いています。

問 緑海橋から九十九里方面へ向

かい、松ヶ谷口地先付近に拡幅事業途中の区間があり、用地交渉を引き続き行っているとの報告がありました。その後の進捗状況について伺います。

答 都市建設部長 県山武土木事務所に確認したところ、平成30年度は境界確定作業を実施し、31年度は用地買収を予定しているそうです。工事着手は用地買収後となるため未定とのことです。



歩道整備が待たれる緑海橋

避難道路について

問 津波避難道路の進捗状況について伺います。

答 都市建設部長 避難道路整備事業は、緑海小学校校門付近約230mの改良工事と合わせ、用地買収について引き続き交渉中です。上横地・松ヶ谷線外防災ネットワーク道路整備事業は、成東総合運動公園北側交差点付近、約110mの改良工事と、工事箇所東側へ約200m進んだ辺りの約180mの改良工事を行っています。蓮沼ホ・蓮沼イ線外防災ネットワーク道路整備事業は、県道飯岡一宮線と交

差点部分から北側に約280mの改良工事と、中間部分から海側へ約100mの改良工事を進めています。

問 本年度の見込みで、工事整備済み区間と用地買収の状況を伺います。

答 都市建設部長 緑海地区の避難道路整備事業は、買収見込み面積が約85%、工事進捗率は73%です。上横地・松ヶ谷線外防災ネットワーク道路整備事業は、買収見込み面積が約58%、工事進捗率は約25%です。蓮沼ホ・蓮沼イ線外防災ネットワーク道路整備事業は、買収見込み面積が約65%、工事進捗率は約30%です。

問 今後の予定について伺います。

答 都市建設部長 緑海地区の避難道路整備事業は緑海小学校から勝覚寺付近を、上横地・松ヶ谷線外防災ネットワーク道路整備事業は本年度工事の続きの箇所を、蓮沼ホ・蓮沼イ線外防災ネットワーク道路整備事業は水路部分を予定しています。

問 平成30年9月の定例会で、工事や交通規制の情報をホームページに掲載するとの回答がありました。その後の状況について伺います。

答 都市建設部長 ホームページで、交通状況に大きな影響がある工事を対象にして、道路工事に伴う交通規制を掲載し、周知を図っています。